

英語 I (English I)	1 年・通年・5 単位中の 2 単位・必修 物質化学工学科・担当 後藤 郎子	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (3)		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>英語運用能力の素地を養い、正確な英語の 2 技能（読み・書き）の習得を目指す。文法を単元別に学習することにより、各単元の知識を深め、将来必要とされる正確な文法分析力、英語表現力の育成を図る。英語 I のなかで連携をとりながら、総合的な英語力を高める。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>単元別に文法事項を学習していく。学習内容の定着を促すために、単元ごとに小テストを行うようにする。教科書を中心に講義を進め、補助教材で各自が復習を行い、問題を解く速度を上げていけるようにする。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>学習単元を徹底理解するためには、予習復習は欠くことができません。新しい単元を学習する際には、必ず各自が予習を行い、文法理解の妨げにならないよう未習の単語などは調べたうえで講義に臨むこととする。講義中は、ノートを取り、復習に役立てるよう工夫すること。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>前期中間試験： 文の種類、文型、時制、完了形 前期末試験： 助動詞、態、不定詞 後期中間試験： 動名詞、分詞、比較 学年末試験： 関係詞、仮定法、時制の一致と話法</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験（60％）、小テスト(20%)、課題、授業での取り組み（20%）</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>・総合英語 Forest Intensive English Grammar in 27 Lessons 7th Edition (桐原書店)</p> <p>〔補助教材〕</p> <p>・総合英語 Forest Intensive English Grammar Training Book 7th Edition (桐原書店)</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>英語 I （3 単位分）</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス・文の種類	授業の進め方と説明、文の種類	
第2週	動詞と文型(1)	第1文型、第2文型、第3文型	
第3週	動詞と文型(2)	第4文型、第5文型	
第4週	動詞と時制(1)	現在形、現在進行形、過去形、過去進行形	
第5週	動詞と時制(2)	未来形	
第6週	完了形(1)	現在完了形、現在完了進行形	
第7週	完了形(2)	過去完了形、過去完了進行形、未来完了形	
第8週	前期中間試験		
第9週	助動詞(1)(2)	能力・許可・義務・必要・可能性・推量を表す助動詞	
第10週	助動詞(3)	need/ used to、助動詞+have+過去分詞	
第11週	態(1)	受動態の基本形、SV00の受動態	
第12週	態(2)	SV0Cの受動態、注意すべき受動態	
第13週	不定詞(1)(2)	3用法、SV0+to不定詞、不定詞意味上の主語	
第14週	不定詞(3)	使役動詞・知覚動詞を使った表現	
第15週	まとめ・総復習	これまでの学習のまとめ	
前期期末試験			
第16週	動名詞(1)	動名詞の働き	
第17週	動名詞(2)	動名詞と不定詞	
第18週	分詞(1)	分詞の限定用法、叙述用法	
第19週	分詞(2)	分詞構文	
第20週	比較(1)	原級・比較級・最上級	
第21週	比較(2)	最上級を使った比較	
第22週	まとめ・総復習	これまでの学習のまとめ	
第23週	後期中間試験		
第24週	関係詞(1)	主格・目的格・所有格	
第25週	関係詞(2)	that、前置詞+関係代名詞、what	
第26週	関係詞(3)	継続用法、関係副詞	
第27週	仮定法(1)	直説法、仮定法過去、仮定法過去完了	
第28週	仮定法(2)	未来のことを表す仮定法、慣用表現	
第29週	時制の一致と話法	時制の一致、直接話法、間接話法	
第30週	まとめ・総復習	これまでの学習のまとめ	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)